

佐々木 敏 教授

Sasaki, Satoshi



1.「社会予防疫学」とは？

健康状態や疾患発生を集団内で計量的に把握し、疾患発生リスクに関係する因子と疾患発生との関係を統計的に分析し、予防保健につなげる学問が疫学です。飲酒・喫煙、栄養や身体活動など古典的な因子に加え、最近では遺伝子やその発現をコントロールする因子や社会経済因子を対象とする疫学研究も世界的に盛んになっています。薬物など治療の経済評価を行うためにも、疾患発生状況に関する疫学データが必要です。さらに、疫学は、研究方法論を提供するとともに予防保健を実践する実学として、健康科学の中心分野ですが、残念ながらわが国ではその教育体制も研究体制も十分ではありませんでした。

「社会予防疫学」は、人間社会で起こっているさまざまな現象(個人の生活習慣も含む)と疾病との関連について疫学的手法を用いて明らかにするとともに、それを疾病予防・疾病コントロールに用いるための具体的な方策を探る学問です。

2.担当科目、課題研究テーマ

「疫学研究と実践」、「予防保健の実践と評価」を担当します。疫学研究には対象者の協力が不可欠であり、また研究の最終的な目標は疾病の予防と健康状態の向上です。そのための合意形成と情報のフィードバックに必要な知識・技術も重要な教育内容となります。学内外の研究グループと協力して、現在進行中のさまざまな疫学研究の実務作業やデータ解析に参加してもらいインターンシップ、課題研究を予定しています。また、これからのわが国で重要な、しかし十分な教育研究体制の存在していない「栄養疫学」について、研究と実践を行っていきます。